

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年2月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503361		
法人名	医療法人 三宅会		
事業所名	グループホーム新涯		
所在地	〒721-0955 広島県福山市新涯町三丁目1 4 番 7 号 (電話) 084-928-1117		
自己評価作成日	平成29年1月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年2月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>○入所者、入所者家族・職員が一つの家族と考え、入居者の皆様が日々穏やかに過ごせるように、明るく、笑顔がたえない事業所を目指しています。</p> <p>○外出支援・地域の行事への参加等を中心に、生活がグループホームで完結しないように心掛けています。</p> <p>○三宅会グッドライフ病院と連携し、日々の体調管理、QOLの向上を職員が常に意識し、支援しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>“明るく、笑顔が絶えない事業所を目指す”方針のもと、利用者一人ひとりの想いを大切にしている。個々の生活習慣を大事に”利用者の望む暮らし”が実現できるように、職員は利用者寄り添いながら支援している。季節毎の行事があれば、2ユニット合同で行っている。敷地内には、テラスや庭があり、畑で野菜づくりを行い、収穫した食材を食事で美味しく頂いている。外出や地元の行事（夏祭り・敬老会・秋祭り）などに参加することにより、地域交流が図られている。社内研修の充実を行い、職員は日々サービスの質の向上に精進している。住環境は清潔に保ち、利用者の体調管理にも気を配っている。運営母体が病院でもあり、病状に変化があれば即対応できることは、利用者・家族にとっては安心に繋がっている。今後も職員のスキルアップを図り、利用者のケアの充実に関心をもちたいと考えている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事務所入り口、玄関、各フロアに掲示し、常に目に付くところにあります。申し送り時には常に唱和し、実践につなげています。	理念に関して、職員の視覚的に目につくところに掲示され、朝（9時）の申し送りで唱和し、今日一日の目標（注意喚起など）を決めている。なお、職員間で話し合い、年間目標を作り上げている。	年間目標に対して、振り返りができていない状況があります。今一度、1年間の振り返りを職員全員で行い、利用者の状況・地域状況・職員状況などを踏まえて、次年度に向けての目標設定の話し合いが必要と思われます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	季節の地域行事へ参加をし、交流を図っています。	地元行事（夏祭り・敬老会・ふれあいフェスタ作品展）に参加している。秋祭りの際には、子ども神輿が事業所まで来て、地域と利用者の交流が図られている。職員も町内掃除や行事を手伝い、地域との関わりを密にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	行事への参加、中学生、小学生との交流など、地域への理解を高めています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を2か月に1回開催し、市の職員、町内会役員、近隣の方、家族の方に参加をして頂いています。防災訓練、防火、防犯などのアドバイス、行事への参加について、情報を得ています。	防災訓練の実施、防犯などのアドバイスを受けて、夜間の施錠を変更（20時から18時）した経緯がある。家族参加者が特定者のみの状況を受け、来月より、日曜日に開催し、より多くの、家族参加を促す取り組みを始めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加して頂き、貴重な情報、ご意見を頂戴しています。インターネットの設備がなく、貴重な情報の時間となっています。	市担当者は、運営推進会議に参加し、相談したり連絡を密に取り合い、協力関係を築くようにしている。また、地域交流について、アドバイスを頂くこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内での勉強会を実施し、職員の理解を深め、身体拘束をしない、させないケアに取り組んでいます。</p>	<p>適切なケアにより、今のところ身体拘束をする事例が無い状況である。安全確認のため、玄関ホールには、センサーチャイムを活用している。研修などで職員は正しく理解し、身体拘束を行わないケアが当たり前という認識が徹底されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者、職員は施設内での研修、勉強会に進んで参加し理解に努め深めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、活用する機会がありません。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約、解約時には、丁寧な説明を実施したうえでサインを頂いています。入所時の事前面談、見学など実施しております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御家族、利用者様からの意見や要望は面会時、電話連絡時にお聴きしております。また、受付にアンケートボックスを設置しております。家族の方と努めて話しをしております。</p>	<p>家族へ、毎月のグループホーム便りを送付している。面会者が多く、日々、顔を合わす環境である。個々の要望などは、申し送りノートを活用し、職員間で情報共有している。外出行事があれば、案内を送付している。</p>	<p>より多くの家族との関わりが必要と思われます。家族参加ができる行事や家族会などを行い、生の声を聴く機会づくりを、増やす取り組みが必要です。それらの意見などを、日々の支援に生かしていく取り組みを望みます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度のミーティングと勉強会で、意見を聞く場を設けており、日々、管理者が築くよう努力しており、現場の意見を三宅会の連絡会議に諮っております。</p>	<p>月1回のミーティングや、月2回の勉強会と社内研修が充実している。職員同士が話しやすく、協力し合う環境である。職員のストレスマネジメントとして、ストレスチェックを実施している。</p>	<p>意見や提案を聴く機会づくりを増やす取り組みとして、管理者と職員の個人面談が必要と思われます。その中で、働きやすい職場環境の充実に、より一層取り組まれることを望みます。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>就業規則を整備し、いつでも閲覧できるようにしております。管理者は全体会議の情報を共有することに努めています。職場環境の改善を、常に心がけております。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内の勉強会、三宅会の勉強会、外部研修に参加できるように努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>同業者との交流は現在ありません。地域の人々との交流と同じように、近隣の同業者との交流も図りたいと思います。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前より、要望など聴き取ることに努め、信頼関係の構築に努力しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前、後に要望など聴き取ることに努め、信頼関係の構築に努力しております。家族様の不安点を取り除くよう、話し合いを重ねております。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面談、訪問の際の情報を基本にして、ご本人に合うサービスを提供し、入所後も改善に努め、一番いい提供を目指しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様を敬い、喜怒哀楽を共に感じられるよう、あるがままを温かく受け入れています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>利用者様の状況を常に把握し、面会時など情報を共有するよう努めています。また、家族様と同じ気持ちを持つように取り組んでいます。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>訪問しやすい環境、雰囲気作りに努めています。</p>	<p>利用者の大半の方が、事業所近くの方なので、友人、知人などの面会があり、面会時には、ゆっくりと過ごして頂くように、居室やリビングへ案内している。事業所の周辺が散歩コースに適しており、気候が良ければ、散歩や買い物に出掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士共に助け合い、生活されるよう、職員は見守りの中、積極的に関わり、解決している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も本人様、家族様からの相談を受け付けています。また、三宅会の地域連携室も対処しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様や家族様より情報を頂戴し、得た情報を皆で共有し、希望や意向の実現に向けて努力しております。意思表示の困難な利用者様には、表情などから適切に見極めて対応に努めています。	利用開始前からの情報や日頃の関わりから、本人の思いや希望などを聴き取っている。以前、書道をされていた経緯から、書道が継続できるように環境整備をしている。利用者個々の希望や意向は反映され、可能なことは実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族様や本人様からの個々の生活歴等の情報を、ケアプランに取り入れるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子を記録し、個々の現状を把握する様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプランの見直しをするにあたり、計画担当者を中心に、管理者、看護師、介護職員の意見と医師の意見も取り入れています。本人様、家族様に介護計画を提示しています。</p>	<p>日々の関わり状況を、ケース記録（個別記録）に丁寧に記録している。身体機能維持や本人の望むことが実現可能となるように、カンファレンスで、介護計画の実施状況やモニタリングを作成し、現状に即して、見直しなどを実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録、情報をもとに、申し送りなどで情報の共有を図っています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>最良の支援が出来るよう、本人様、家族様の満足度が損なわれないよう。三宅会の施設、機関との連携に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事への参加を積極的にし、地域とのつながりを大切にしています。入所者の皆様が、楽しく生活出来るよう努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>グループホームの提携医療機関が、訪問診療を行っています。提携医療機関の専門外時は、以前からのかかりつけ医を受診し、職員も同行しています。</p>	<p>利用開始時には、緊急時や24時間相談できる体制のことも考慮し、事業所の協力医を主治医としている。事業所として、看護職員も配置され、訪問看護などとの連携により、適切な医療が受けられる体制である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員は看護職員や訪問看護師に情報を伝え、入所者様が適切な診療や看護が受けられるよう支援しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	提携医療機関がグッドライフ病院なので、入居者様も安心して治療ができ、病院スタッフとも情報共有ができています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時に本人様、家族様に当グループホームの方針を説明している。兆候が見られたら速やかに医師を交え、入院の準備と家族様のお気持ちに沿った対応をさせて頂いています。	希望があれば、看取りはする方針である。事業所として「重度化した場合における対応に係る指針」に準じて対応している。状況変化に応じて、かかりつけ医と家族との話し合いを重ね、検討を行い、対応方針を決めている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	当グループホームのマニュアルに沿って、対応をしています。急変時には119番通報を支持しています。防災、防火訓練も実施しています。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	年2回以上の避難訓練を実施しています。地域の方も含めて、参加して頂いています。市の防災訓練にも、地域の方々とは合同で取り組んでいます。	地域住民との連携が必要なため、日頃から運営推進会議で災害対策について話し合いをしている。適宜、運営推進会議メンバーと一緒に訓練を実施している。市の防災訓練にも、地域の方々とは参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様を年長者として尊敬し、配慮した言葉づかいを心掛け、入浴、排泄の際、配慮する様になっています。また、勉強会などにおいて、接遇について習得しています。	勉強会を通して、接遇研修をしている。利用者への呼び方、日々の言葉掛けも、穏やかに対応することを心がけ、一人ひとりの性格やペースに合わせて、不快な思いをさせないように、十分配慮した対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人様の希望や思いを聴き入れるよう努力しており、難しい時は、話し合いにて解決するよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人様のペースや希望に沿うよう、柔軟な対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	定期的に理容院、美容院を利用しています。季節に合った洋服を家族様に連絡して、用意してもらっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は、三宅会本部の管理栄養士が献立を立て、職員が調理しています。入居者様にも、出来る範囲の調理の手伝いをしています。	3食の手作りは好評である。敷地内に畑があり、野菜（ナス、トマト、カボチャ、ジャガイモなど）を収穫している。月1回の身体測定を行い、栄養状態の把握をしている。手作り弁当を作って、お花見など出掛けることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入居者様一人ひとりの健康状態を把握し、それに沿った支援をしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に声掛け、見守り、誘導して、口腔ケアをしている。個人々に合わせたケアを行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々に合わせた排泄パターンを把握し、なるべくトイレで排泄が出来るように、支援しています。</p>	<p>個々のパターンを把握し、トイレ誘導を行っている。トイレは、1ユニット（定員9名）に3箇所あり、車いす使用者でも可能なスペースを確保している。食事の工夫や適切な水分補給、散歩、体操などを取り入れ、便秘予防に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘の原因や及ぼす影響を、職員が理解し、食事や水分の摂取を調節し、各自に応じた予防を心掛けています。薬の利用はなるべく避けています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>本人様の体調に配慮しながら、時間、回数にも注意しています。転倒に注意し、ゆっくりと気分よく入浴して頂くよう心掛けています。</p>	<p>週2回の、午前または午後入浴を実施している。皮膚トラブルがあれば、午前に入浴をし、訪問看護師の処置を適宜受け、早期治療に努めている。必要時、気分転換に足浴を行う場合がある。また、ゆっくりと入浴が出来るように、柔軟に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>夜間安眠ができるように、日中は活動するよう努力し、生活のリズムを作る支援をしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の目的、用法、用量に関して、個々に管理し、職員が把握できるよう情報を共有し、記録を残しています。副作用については注意しています。薬の変更があれば申し送りをしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の生活履歴や得意な物、趣味など把握して、本人らしく過ごせる場を作り出すよう努めています。外出やレクリエーションに参加することで、気分転換をはかるよう支援しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日には、散策、ドライブをしています。希望者には、買い物に付き添っています。</p>	<p>季節毎の外出支援をしている。気候が良ければ、近所への散歩や買い物などに出掛けている。家族の協力を得て、食事・買い物を兼ねて外出している。敷地内のテラスで、ゆっくりと過ごす方もおられる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人の希望に沿って所持したり、事務所にて管理もしています。必要に応じて、入金、出金を家族様に相談しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望に応じて、電話を利用して頂いています。難しい時は、事業所から連絡をしています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有スペースは常に清潔にしています。入居者の作品など飾り、楽しんでもらえる空間を演出しています。</p>	<p>掃除は毎日行い、事業所内は清潔に保たれている。換気や室温調整を行い、利用者の健康管理に努めている。利用者の大半は、リビングで過ごすことが多く、ゆったりとした空間により、一人ひとりが穏やかに生活されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング兼食堂にて対応し、席は固定していますが、要望があれば配置換えもしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に本人様の馴染みの物など持参してもらい、過ごしやすい部屋にして頂いています。</p>	<p>居室内は、ベッド・エアコン・カーテン・寝具は事業所の備品として準備している。本人が必要とするものは、本人と家族と相談しながら自由に持ち込み、自分の部屋として、居心地良く過ごせる環境となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>施設内外に手すりを設置し、歩行器、車椅子の通行できるスペースを確保しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム新漕

作成日 平成29年3月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	面会の方は多いのですが御家族様同士の交流がない	家族会の催行	敬老会・クリスマス会などの時に家族も招待し、同時に家族会等を開催する。	6か月
2	1	目標設定がわかりづらい。	簡単な目標設定 具体的に目標を決める。	身近な問題点を目標にする。	2か月
3	11	施設長が多忙のため時間が摂れていない	年間2回の面談実施	施設長だけでなく、三宅会管理者全員で協力し、面談を実施する。	6か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。